

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【公開番号】特開2013-66807(P2013-66807A)

【公開日】平成25年4月18日(2013.4.18)

【年通号数】公開・登録公報2013-018

【出願番号】特願2013-12683(P2013-12683)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年4月22日(2013.4.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の演出を行う複数系統の演出装置を系統毎に制御可能な演出制御手段を備え、

前記演出装置の系統の各々を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設け、

前記演出制御手段を、前記グループ単位制御手段の各々を統括的に制御するグループ統括制御手段として構成するとともに、

前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、

前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でデータ信号を伝達するデータ線と、

を備えることにより前記グループ統括制御手段から前記各グループ単位制御手段にデータを送信可能とし、

前記グループ単位制御手段は、

前記データ線と別個にもうけられた初期化信号入力端子に初期化信号が入力されることによって当該グループ単位制御手段を初期化する第1初期化手段、又は、前記グループ統括制御手段から前記データ線を介して所定の初期化指示データを受信したことに対応して当該グループ単位制御手段を初期化する第2初期化手段を備え、

前記グループ統括制御手段は、

前記データ線を介して前記グループ単位制御手段に、所定の電圧レベルを出力する電圧出力手段を備え、

前記データ線に出力する電圧レベルを前記グループ単位制御手段に送信するデータに対応させて変化させることにより、前記グループ単位制御手段に当該データを順次送信することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

特許文献 1 に開示された遊技機では、演出制御装置に接続された複数の装飾制御装置を備えており、これらの複数の装飾制御装置は、装飾制御装置同士で直列に接続され、一意なアドレスを有し、装飾制御データが入力されると、入力された装飾制御データに含まれるアドレスと制御装置が有するアドレスとが一致する場合に、装飾データに基づく演出を行う構成となっている。

特許文献 1 に記載の遊技機では、装飾制御データの送信するデータ線にプルアップ抵抗を接続するとともに、データ線にオープンドレイン回路を接続することで装飾制御データの送信を可能にしている。

このような、オープンドレイン回路では、LOW レベルの出力時に接地されているソースに電流が流れるためプルアップ抵抗はあまり小さくできない。

このため、HIGH レベルの出力時に、そのプルアップ抵抗の影響を受けて信号電圧の立ち上がりが遅くなる為、高速な通信を実現することができない。

#### 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】削除

【補正の内容】

#### 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】

#### 【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

#### 【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

#### 【0009】

本発明は、遊技の演出を行う複数系統の演出装置を系統毎に制御可能な演出制御手段を備え、前記演出装置の系統の各々を複数グループに分割し、該分割されたグループに属する演出装置を制御するためのグループ単位制御手段を各グループ毎に設け、前記演出制御手段を、前記グループ単位制御手段の各々を統括的に制御するグループ統括制御手段として構成するとともに、前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でタイミング信号を伝達するタイミング信号線と、前記グループ統括制御手段と前記グループ単位制御手段との間でデータ信号を伝達するデータ線と、を備えることにより前記グループ統括制御手段から前記各グループ単位制御手段にデータを送信可能とし、前記グループ単位制御手段は、前記データ線と別個にもうけられた初期化信号入力端子に初期化信号が入力されることによって当該グループ単位制御手段を初期化する第1初期化手段、又は、前記グループ統括制御手段から前記データ線を介して所定の初期化指示データを受信したことに対応して当該グループ単位制御手段を初期化する第2初期化手段を備え、前記グループ統括制御手段は、前記データ線を介して前記グループ単位制御手段に、所定の電圧レベルを出力する電圧出力手段を備え、前記データ線に出力する電圧レベルを前記グループ単位制御手段に送信するデータに対応させて変化させることにより、前記グループ単位制御手段に当該データを順次送信する。

#### 【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、高速な通信を行うことができる。